レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　様式３

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名） | 理工系人材と県内企業とのマッチング支援（理工系人材獲得促進事業） | | | 部（局） | 産業労働部 |
| | | | | 所管課 | 労政福祉課 |
| | | | | 担当班 | 雇用就労班 |
| | | | | 連絡先 | 078-362-3357 |
| 開始年度 | 令和4年度 | 終了年度 | 未定 | 関連計画等 | － |
| 事業区分 | □ 国補助事業　☑ 県単独事業 | | | | |
| 実施方法 | □ 直執行　☑ 委託　□ 補助　□ その他（　　） | | | 実施主体等 | 民間 |

**事業目的**

県内大学生における理工系学部大学生の割合は9.3%であり、全国より約9ポイント低く、一方で、県内の産業構造は製造業が27.1%で全国と比べて6.5ポイント高い。この現状に鑑み、県内外の理工系大学及び学生と県内中小製造企業とのマッチング機会を創出し、理工系人材の獲得に向けた支援を展開する。

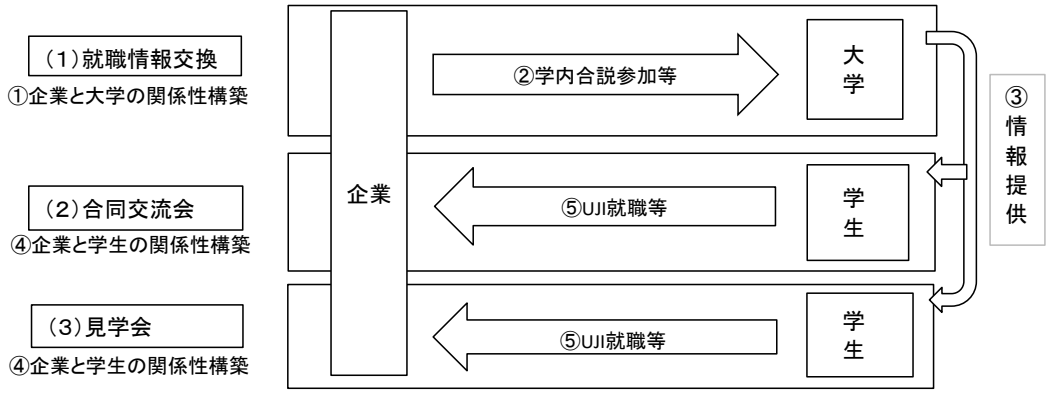
**事業概要**

（１）県内中小製造企業と県内外の理工系大学との就職情報交換会
①参加企業：理工系学生を必要とする県内中小製造企業（兵庫工業会と連携）
②参加大学：就職支援協定締結大学をはじめとした理工系学部を有する大学
③内　　容：オンラインで大学と企業を繋ぎ、双方が求める情報交換の場を提供。企業が大学から学生の就職動向や志向を聞き取ることで、効果的な人材確保の手法を見いだすことに寄与する。

（２）理工系学生と県内中小製造業企業の合同交流会
①参加企業：県内の製造業を営む中小企業
②対 象 者：大学等の理工系学生（全学年、主に大学１・２年生など就職活動前の学生）
③内　　容：学生と企業との交流会を開催し、理工系学生が先輩社員との交流や実際の仕事の体験などを通して、企業を知る機会を提供

（３）製造・現場見学会
①参加企業：県内の製造業を営む中小企業
②対 象 者：大学等の理工系学生（全学年、主に大学１・２年生など就職活動前の学生）
③内　　容：産業見本市の見学により、製品を直に触れる機会を提供する。さらに、企業の技術者や若手社員と交流することで、深い企業理解へとつなげる。

**業務フロー**




**R5レビュー時の外部委員会意見**

・ICTの活用が遅れている旧態依然とした企業に学生は魅力を感じない。体制整備など企業側のマインド改革にも取組むべきである。
・学生と企業の交流会には、参加希望企業だけでなく、県が財務状況等も踏まえて学生にアピールできると思える企業を目玉企業として呼んでくることも検討すべき。
・目玉企業に交流会に参加してもらうことで、その企業のよい取組を他企業へ横展開する場としても活用出来るのではないか。
・県内の理工系学部のある大学ごとに会場を設けてみてはどうか。その際は、各企業のその大学OB/OGにも参加してもらうべきである。
・理工系人材にこだわらず、リスキリングした文系学生でもいいのではないかということは、企業には改めて検討を求められたい。

**改善結果**
（改善状況 取組過程）

・企業選定の段階で学生の認知度が高い優良企業を数社ピックアップすることで参加者増に繋がった。
・理工系学生の興味を引くイベントと合わせて見学会を実施し、企業側には採用担当者に加えて技術担当者にも参加いただくことで参加者の満足度向上及び集客に繋がった。
・県立大学内でのイベント開催に合わせて合同交流会を開催することで、参加者増に繋がった。

# レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

## 事業に要するコスト

| 区　　分 | | | ５年度決算額 | ６年度決算額 | ７年度当初予算額 | ８年度当初予算額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費① | | | 7,385 千円 | 7,945 千円 | 7,957 千円 | 8,382 千円 |
| 経費内訳 | | 報酬・賃金 | | | | |
| | | 委託料 | 7,385 千円 | 7,445 千円 | 7,457 千円 | 6,878 千円 |
| | | 補助金・交付金 | | | | |
| | | 貸付金 | | | | |
| | | その他 | | 500 千円 | 500 千円 | 1,504 千円 |
| （財源内訳） | | (国庫) | | | | |
| | | (特定) | | (7,945千円) | (7,957千円) | (8,382千円) |
| | | (起債) | | | | |
| | | (一般財源) | (7,385千円) | | | |
| 予算額②<br>※精算補正前の予算を記載 | | | 7,385 千円 | 7,945 千円 | 7,957 千円 | 8,382 千円 |
| 執行率((①/②)×100) | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 人件費③（a＋b＋c） | | | 従事人員 0.3人 | 従事人員 0.3人 | 従事人員 0.3人 | 従事人員 0.3人 |
| | | | 2,475 千円 | 2,586 千円 | 2,700 千円 | 2,832 千円 |
| | 職員給与費 | a | 2,147 千円 | 2,217 千円 | 2,371 千円 | 2,462 千円 |
| | 賞与引当金繰入額 | b | 178 千円 | 187 千円 | 178 千円 | 187 千円 |
| | 退職手当引当金繰入額 | c | 150 千円 | 182 千円 | 150 千円 | 182 千円 |
| 総コスト(①＋③) | | | 9,860 千円 | 10,531 千円 | 10,657 千円 | 11,214 千円 |

## 評価指標

| 指標名 | 区　分 | ５年度実績 | ６年度実績 | ７年度見込 | ８年度目標 | 最終目標【年度】 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 成果指標(アウトカム指標①)<br>県内製造業の求人数に対する採用割合(単年度) | 目　標 | 16.6 | 16.8 | 17.0 | 17.2 | 【年度】 |
| | 実績（見込） | 16.6 | 15.9 | (15.1) | (17.2) | |
| | (単位当たりコスト) | (594 千円) | (662 千円) | (706 千円) | (652 千円) | |
| | 達成率（見込） | 100.0% | 94.6% | (88.8%) | (100.0%) | |
| 成果指標(アウトカム指標②)<br>参加企業への就職者数 | 目　標 | － | － | － | 4 | 【年度】 |
| | 実績(見込) | － | － | － | － | |
| | (単位当たりコスト) | -- | -- | -- | -- | |
| | 達成率(見込) | -- | -- | -- | -- | |
| 成果指標(アウトカム指標③)<br>合同交流会参加学生数(単年度) | 目　標 | 30 | 40 | 40 | 40 | 【年度】 |
| | 実績（見込） | 39 | 119 | (192) | (40) | |
| | (単位当たりコスト) | (253 千円) | (88 千円) | (56 千円) | (280 千円) | |
| | 達成率（見込） | 130.0% | 297.5% | (480.0%) | (100.0%) | |
| 成果指標(アウトカム指標④)<br>製造・現場見学会参加学生数(単年度) | 目　標 | － | 40 | 40 | 40 | 【年度】 |
| | 実績（見込） | － | 61 | (203) | (40) | |
| | (単位当たりコスト) | -- | (173 千円) | (52 千円) | (280 千円) | |
| | 達成率（見込） | -- | 152.5% | (507.5%) | (100.0%) | |
| 活動指標(アウトプット指標①)<br>合同交流会の開催回数(単年度) | 目　標 | 2 | 2 | 2 | 2 | 【年度】 |
| | 実績（見込） | 2 | 2 | (3) | (2) | |
| | (単位当たりコスト) | (4,930 千円) | (5,266 千円) | (3,552 千円) | (5,607 千円) | |
| | 達成率（見込） | 100.0% | 100.0% | (150.0%) | (100.0%) | |
| 活動指標(アウトプット指標②)<br>製造・現場見学会の開催回数(単年度) | 目　標 | 2 | 2 | 2 | 2 | 【年度】 |
| | 実績（見込） | 2 | 2 | (2) | (2) | |
| | (単位当たりコスト) | (4,930 千円) | (5,266 千円) | (5,329 千円) | (5,607 千円) | |
| | 達成率（見込） | 100.0% | 100.0% | (100.0%) | (100.0%) | |
| 活動指標(アウトプット指標③) | 目　標 | | | | | 【年度】 |
| | 実績（見込） | | | | | |
| | (単位当たりコスト) | -- | -- | -- | -- | |
| | 達成率（見込） | -- | -- | -- | -- | |

## 目標

| | |
|---|---|
| 終期設定 | 有（　　）・（無） |
| 改善基準 | 合同交流会及び製造・現場見学会の参加学生数が目標値50%未満の場合 |

# レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

| 自己評価 | 評価の視点 | 評価 | 目標に対する達成状況（総合的評価） | |
|---|---|---|---|---|
| | ○有効性（評価指標に対する実績）<br>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か<br>・民間での事業実施は見込めない事業か<br>・指標・目標設定は適切か<br>・活動実績は十分か<br>・想定された成果を達成しているか　など | ・就職情報交換会では、参加企業から「大学との繋がりが持てた」との意見が多数あり、企業と大学間の新しいパイプ作りに有効であった。<br>・企業と学生の合同交流会や製造・研究現場見学会では、参加学生から、「今まで知らなかった企業の説明を聞き、理解が深まった」「進路の選択肢が広がった」「授業で学んだシーケンス制御の知識が活かせる」と企業や業界への理解につながった。 | B：ほぼ満足のいく実施状況 | 参加企業から「接点を持つことさえ難しい理工系学生と接触することができた」「学生の関心分野や職業観に関する具体的な声など採用活動における有益な情報を得ることができた」などという声があり、満足度が高かった。<br>レビューの意見を踏まえ、令和6年度より学内での交流会や製造・研究現場見学会を実施することで参加者増に繋がった。<br>参加企業への就職者数について、本事業の主な参加者は1、2回生であることから、事業改善の成果が出る時期は最短でもR9年度以降となる見込みである。 |
| | ○効率性（最小のコストで最大の効果）<br>・業務改革に取り組んでいるか<br>・コスト削減の工夫を行っているか<br>・ICTや民間活力は活用しているか<br>・受益者負担は適正か<br>・財源確保の工夫は行っているか　など | ・ICTを活用することで効率良く広報を展開した。<br>・大学内での開催や既存事業と一体的に実施することにより、会場費を抑えて予算削減に繋げた。 | | |
| 評価 | 課題・今後の方向性<br>☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他<br>説明：事業の実施内容を改善することで、学生参加者数を増やすことには繋がったが、企業と学生のマッチング精度を高めるため、学生のニーズを捉えた企業選定を行なった上での合同交流会の開催等さらなる取り組みを実施していく。 | | | |
| 外部委員会意見 | ・参加学生数が3年間で大きく増加している点は評価できる。<br>・一方で、本事業の目的はイベントへの参加促進ではなく、県内企業、特に製造業への就職・定着につなげることである。そのため、事業成果については参加者数のみならず、内定数、入社数、定着率などを踏まえた効果検証が重要である。<br>・また、採用成果の向上には、学生との接点創出に加え、企業側の採用力向上や情報発信の強化、インターンシップの充実なども不可欠である。県が直接採用活動を担うことはできないものの、企業への伴走支援や採用環境の整備を通じて成果につながる仕組みを強化し、事業の目的や県の役割を整理した上で、より実効性の高い事業展開を期待する。 | | | |